

小学校4年 国語科 学習指導案

「自分の情報や他人の情報を大切にする」

日 時：平成 年 月 日（ ）  
 場 所：  
 授業者： 教諭 柳井 雅衣

1 単元名

材料の選び方を考えよう「四年三組から発信します」（光村図書 4年下 はばたき）

2 単元について

(1) ねらいについて

本単元は、学習指導要領の目標(2)「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。」を受け、B書くことの内容(2)イの学級新聞を書く活動を通して、B書くことの内容(1)ア「関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。」、ウ「書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」を主なねらいとしている。

本単元は、情報活用単元の系列に属しており、本教材「四年三組から発信します」では、自らが情報の発信者となって、情報の収集、選択、発信までの活動を行う。テレビや新聞等のメディアを通じてわたしたちが受け取っている情報は、発信者の目的によって取捨選択がされたものである。そのことを理解し、相手や目的を明確にして新聞づくりに取り組むことを通して、集めたさまざまな情報の中から相手や目的に合うものを選んで、分かりやすく伝える力を高めていく。つまり、情報収集の方法などの「情報活用の実践力」や読み手を意識した情報発信の大切さに気付くなどの「情報社会に参画する態度」の育成を図ることのできる教材である。

(2) 本単元の系統は以下の通りである。(情報活用単元)

3年 大事なことをたしかめよう「食べ物がかせになろう」 書こうとするものの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書く。	4年 材料の選び方を考えよう「四年三組から発信します」 書こうとする題材に必要な事柄を集め、相手に応じて分かりやすく書く。	5年 目的に応じた伝え方を考えよう「工夫して発信しよう」 編集作業を通して、集めた材料を目的に合わせて整理し、加工して伝える。
---	--	--

(3) 児童の実態は以下のとおりである。(在籍数〇〇人)

意識調査（よくできる、だいたいできるの回答数）			レディネステスト及び観察			
①言語獲得の意識	言葉調べ	〇〇	評価内容	A	B	C
	漢字の習得	〇〇	課題設定	〇〇	〇〇	〇〇
②記述や推敲の意識	文章の書き方の理解	〇〇	取材（情報の収集）	〇〇	〇〇	〇〇
	文章の推敲	〇〇	文章構成	〇〇	〇〇	〇〇
	習得した言語の活用	〇〇	内容の組み立て	〇〇	〇〇	〇〇
③他教科での活用	国語科の学習を活用	〇〇	伝えたいことの中心の記述	〇〇	〇〇	〇〇
④読書の意識	読書量	〇〇	推敲（見直し、書き直す）	〇〇	〇〇	〇〇

相手意識や目的意識を明確にして書くという経験の積み重ねのなかで、文章の書き方について理解できていると感じている児童が増えてきた。しかし、収集した情報を伝えたいことの中に応じて選択することについては、個人差が大きい。記述に関しては、事実を正確に書くことや段落の意識は高まってきているが、主述の関係の定着は今一步である。句読点や誤字についての推敲はできるようになってきたが、伝えたいことの内容を意識した内容の推敲に関しては難しいと感じている児童が多い。

著作権や引用等については第3学年で学習しており、本学年でも国語科はもちろん、他教科等を含め継続して指導している。しかし、これらの習得した知識を活用する場面はこれまであまり多くなかったため、普段意識することはあまりない。

#### (4) 指導にあたって

- ア 教科書作例と2つのメモとを比べることを通して、多めに集めておいた情報の中から相手や目的に応じた必要な事柄を選び、伝えたいことの内容を明確にすることをつかませる。
- イ 教科書作例のメモをもとに自分で文章を作成し、教科書作例と比較・分析させることで、相手に応じた書き方の工夫に気付くことができるようにする。
- ウ 伝えたい事柄に合った写真を1枚選び、その写真に合った記事を書く。
- エ 5月に国語科教材「新聞記者になろう」で学習した割り付け、見出し、読み手を引き付ける記事の書き方などを活かし、伝えたい事柄に合った写真を取り入れて紙面構成を工夫する。

#### (5) 情報モラル教育の視点から

- ア 本単元は、「モデルカリキュラム」の目標「1. 情報社会の倫理」、項目「b 2-1：自分の情報や他人の情報を大切にすること」の関連を重視して展開する。
- イ 自分が調べて分かったことを相手に分かりやすく伝えるために新聞にまとめる活動や完成した新聞を互いに読み合う交流活動を取り入れることは、「相手の気持ちに立った態度」の育成につながる。こうした学習が、今後インターネット上でのコミュニケーションに関する情報モラルの学習に発展していくことを意識して単元の指導にあたる。
- ウ 多くの人の目に触れるという新聞の特性から、情報発信による他者や社会への影響について考えさせ、正しい情報を選び、責任を持って情報発信をすることができるようにする。
- エ ネットワーク社会におけるルールとして、著作権の尊重や個人情報の保護があることを指導したり、発信する相手や目的に応じた必要な情報を選択したり文章にまとめたりすることの大切さに気付かせたりして、ルールやマナーを守って情報を発信しようとする態度を育てる。

#### (6) 人権教育の視点

- ア 自分の考えを自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

### 3 単元の観点別目標

単元の目標	学校や地域にある物について知らせるために取材し、相手や目的に応じて材料を選び、分かりやすく伝える。
国語への関心・意欲・態度	伝える相手や目的に応じて、情報の選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分の表現に役立てようとしている。
書くア（課題・取材）	相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。
書くウ（記述）	伝えたいことの内容を明らかにして、取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。

#### 4 指導・評価の計画（11時間取り扱い）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価項目（方法）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>だれに何のために新聞を書くのかを話し合い、単元の学習の見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年前に現5年生が書いた新聞を見せることでイメージを豊かにし、情報発信への意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手意識や目的意識を持って新聞作りの学習計画を立て、発信する活動に意欲を持っている。（観察、ノート）</li> </ul>
2	2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材メモや教科書作例をもとに、書き方の工夫に気づく。</li> <li>情報発信の際のルール、マナーについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材メモと教科書作例の差や相手に応じた表現の工夫に気づかせる。</li> <li>他人の情報を勝手に載せない、出典を明らかにするなど自分の情報や他人の情報を大切にすることを指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手や目的に応じた課題設定や取材、構成、記述について理解している。（発言、ノート）</li> <li>著作権の尊重や個人情報の保護について理解している。（観察、ノート）</li> </ul>
3	4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り上げる題材を決め、取材する。</li> <li>写真（アップ・ルーズ）を撮る。</li> <li>取材してきた内容を整理して、写真に合った記事を書く。</li> <li>文章が相手や目的に合っているか、写真が内容に合っているかを確認し、加筆修正して清書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報には誤ったものがあることを知り、いろいろな資料を比べて考え正しい情報を選んで利用すること、参考にしたページのURL、出典を書きおくことを指導する。</li> <li>何を伝えたいかを明確にして写真を撮る。撮影する物によっては、許可をとる必要があることを指導する。</li> <li>写真では伝わらないことは文章で表現していくようにする。</li> <li>伝えたい内容にあったリード文、見出しを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットや資料で調べたり取材をしたりして、必要な材料を集めている。（メモ）</li> <li>目的や内容に応じて写真を選び文章を書いている。（新聞）</li> <li>相手や目的に応じて分かりやすく（文字の大きさや色の工夫、写真の選び方や割り付け）まとめている。（新聞）</li> <li>友達の意見も取り入れながらよりよい表現に書き直している。（新聞、観察）</li> </ul>
4	11 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成した新聞を読み合い、表現のよさを見つけ伝え合う。</li> <li>情報発信の際の留意点について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に応じた表現か、伝えたいことに合う写真を選んでいるかを評価の視点とする。</li> <li>新聞に載せた情報に対する責任は自分自身にあることや読み手の気持ちを考えて書くなど、情報発信の際のルール、マナーについて振り返る時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の新聞を読み、表現のよさを見付け、伝えている。（ワークシート、発言）</li> <li>ルールやマナーを守って情報発信することの大切さが分かっている。（観察、新聞）</li> </ul>

5 本時の学習 ( 11/11 時間 )

(1) 目標

完成した新聞を読み合い、表現のよさを見つけ伝え合うことができる。  
 ルールやマナーを守って情報発信することの大切さを理解することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動		指導上の留意点と評価	備考
		○主な発問 ・指示	・予想される児童の反応		
導入	3	1 めあてを確認する。 ・だれに、何のために新聞を書きましたか。	・家の人に向けて。 ・一小の校歌のひみつを伝えるために。 ・写真も見せたいから。	・本時のめあてを明確にすることで、見通しを持ち、意欲を高める。	学習計画表  完成した新聞
		友達が書いた新聞から表現のよいところを見つけ伝え合おう。			
		2 読み合う視点を確認する。 ○新聞を読み合うときのポイントを確認しましょう。 ・新聞を書くときにどんな工夫をしましたか。	・伝えたい中心に合った写真が選ばれているか。 ・文章と写真が合っているか。 ・相手に分かりやすい書き方を工夫しているか。	・本單元における表現のよさについて確認し、新聞を読み合う視点を明確にする。	
展開	22	3 グループで新聞を読み合い、お互いの新聞の表現のよさを見つけ、伝え合う。 ○新聞を読み合っよいいところを見つけ、書いた人に伝えましょう。	・校歌の作詞をした北原白秋さんの生家の写真は、ルーズの方が全体の様子分かるからいいね。 ・白秋さんはこの家で生まれて、よく遊びに来ていたことも書いてあるよ。 ・校区内にあることが紹介されているから、家の人も見に行きたくなるかもしれないよ。 ・出典が書いてあるね。	・三人一組で一人ずつ順番に伝えたかったことを話し、グループで新聞を読み合うようにする。  評価 友達の新聞を読み、表現のよさを見つけ、伝えている。(ワークシート、発言)	ワークシート
		4 情報発信の際の留意点について振り返る。 ○新聞などで情報を発信するときには大事なことは何でしたか。	・読む人の気持ちを考えて書くことが大切。 ・写真も大切な情報だから、相手の許可が必要。 ・発信する情報に責任を持つこと。	・伝えられたよさはシートに書いておき、振り返りに活かす。  評価 学んだことを活かし、情報を大切に扱っている書き方をしている児童の新聞を紹介する。	
終末	5	5 本単元の学びを確かめる。 ・写真を入れた新聞づくりに取り組んで、たくさんのお話を学びましたね。	・記事の伝えたい内容で写真も変わると分かった。 ・相手のことを考えるというのは、いろんなときに大事なのだと分かった。	・表現の工夫を新聞作りに生かしたことを振り返り、習得した内容を活用できたことを実感できるようにする。	学習計画表

## 6 モデルカリキュラムの位置づけ

情報モラル	道徳、各教科・特別活動 他
a2：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ。	国語 伝えたいことを伝えよう「新聞記者になろう」 目的や読み手を意識しながら分かりやすく書く。
b2：情報に関する自分や他者の権利を尊重する。	道徳 友情の大切さ「とべないホテル」 2－(3) 友情・信頼「友達と互いに協力し合い、助け合っていこうとする心情を育てる。」  道徳 心の通い合い「『ありがとう』の言葉」 2－(1) 礼儀「あいさつの言葉の意味や礼儀で通い合う心の大切さを知り、だれに対しても真心を持って接しようとする態度を養う。」  <b>国語 材料の選び方を考えよう「4年3組から発信します」</b> <b>学校や地域にあるものについて知らせるために取材し、相手や目的に応じて材料を選び、分かりやすく伝える。(本時)</b>
c2：情報社会でのルール・マナーを遵守できる。	道徳 みんなの場所を大切に「日曜日のバーベキュー」 4－(1) 規則の尊重・公德心「社会のきまりや約束を守り、公德を大切にしようとする態度を育てる。」  社会 健康なくらしとまちづくり「ごみのゆくえ」 環境センターのしくみや働いている人々の努力や願い、ゴミ出しのルールやリサイクルについて考える。
d2：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる。	
e2：情報を正しく安全に利用することに努める。	
f2：安全や健康を害するような行動を抑制できる。	道徳 健全な生活態度「目覚まし時計」 1－(1) 節度ある生活態度「時間を大切にし、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。」  道徳 よく考えることの大切さ「けいたい電話の落としあな」 1－(1) 節度ある生活態度「何ごとともよく考えて行動しようとする態度を育てる。」
g2：生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。	
h：情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる。	
i2：情報社会の一員として、公共的な意識を持つ。	学級活動 班活動や係活動などを友達と協力して行う。